

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	07	01	03	0403	広域観光推進事業

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--------------------------------	---

《事業目的》

市内への誘客促進

《事業開始の背景》

花巻温泉郷を中心とした宿泊受入基盤と広域的な観光資源の組み合わせによる観光誘客の相乗効果を発揮させる。

《事業概要》

○(社)花巻観光協会が行う事業に対する支援
 ・花巻・遠野・平泉が連携する特典付きツアー「クラシック街道」開催を支援する。
 ・フリーペーパー発行を支援する。

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

（この欄は空欄です）

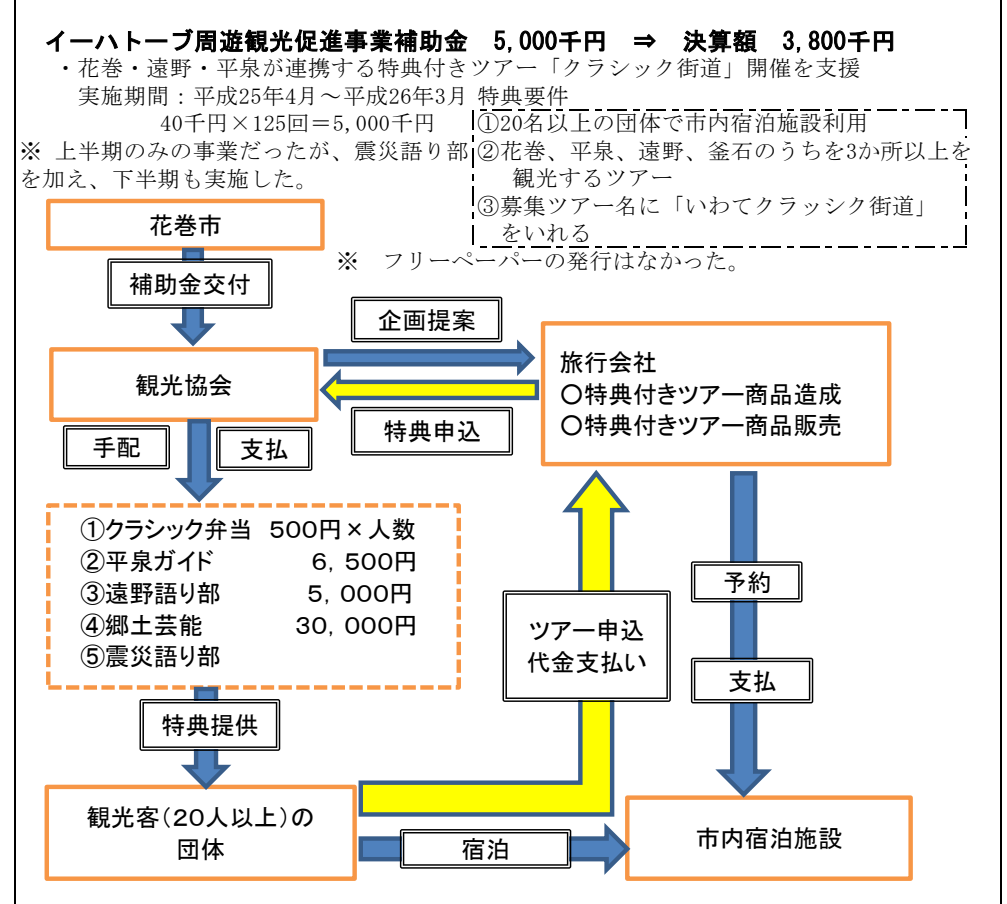
《成果指標》

①	項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
				目標	5,000	10,000
			実績	5,000	4,824	
②	フリーペーパー発行部数	部	目標		20,000	
			実績		0	
③			目標			
			実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
しごと	商工観光部	観光課	高橋 徹	289

		25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
財源内訳	事業費	3,800			0	
	国県支出金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源	3,800	0	0	0	0

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること



広域観光推進事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	07	01	03	0403	広域観光推進事業

総合計画	政策	施策
	2	2-1
目的	市内への誘客促進	
対象	観光客	
意図	花巻を訪れる機会が広がる。	

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○(社)花巻観光協会が行う事業に対する支援

- ・花巻・遠野・平泉が連携する特典付きツアー「クラシック街道」開催を支援する。
- ・フリーペーパー発行を支援する。

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① ツアー開催回数	回	計画	90	180	
		実績	90	108	
② フリーペーパー発行回数	回	計画		4	
		実績		0	
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① ツアー参加人数	人	目標	5,000	10,000	
		実績	5,000	4,824	
② フリーペーパー発行部数	部	目標		20,000	
		実績		0	
③		目標			
		実績			

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い
平泉世界文化遺産登録後3年が経過し、集客効果の低下傾向が見られることから、これまで周知をしていない旅行AGTへのPR活動等のでこ入れが必要となっている。また、フリーペーパーの発行については招聘事業の強化へ予算を振り替えたため実施しなかった。				

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

市政懇談会等において、平等世界遺産登録の機会を失することなく、誘客に結び付けるよう提言をいただいている。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	・宿泊施設への誘客は、本来事業者において取り組むべきことである。 ・東日本大震災の風評被害による観光客の減少に対応するため、誘客に効果ある旅行商品造成に必要な支援を行う必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	積極的な営業活動で新たな旅行会社へ売り込むことで成果を上げることが期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	補助内容の見直しによる削減が考えられる
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	特典付ツアーへの参加機会は平等に与えられている。

《総合評価》…上記評価結果の総括

平泉の知名度による誘客効果を検証する必要があるが、震災復興の側面からも効果のある商品造成支援は必要。